

和合

No.125

2018. 10. 20

題字：三浦修次

主な掲載記事

和合探訪	2
はやぐおっきぐなれの～！	3
よつぱっこ通信	4
6年生のみんなが願う和合の里	5
畑にこんにちは！	6
季節の郷土料理	6
こんにちは 保健師です	7
わどう駐在所	7
和合の里INFORMATION	8



古関編

◆参考資料

『余目町史』 余目町 発行

『大和郷土史』

大和地区地域づくり推進会議 発行

『庄内町の文化財』

庄内町教育委員会 発行

『古関部落史』

古関部落会 発行

古関村の村高は、寛文9年（1669年）の水帳によると、孫市方が田畑合わせて約54町、542石（約81,300kg/1,355俵）、彦市方が田畑合わせて約46町、471石（約70,650kg/1,177俵）と記載があり、村全体として考えると村高が1,000石を超えることから、昔から大きな村であったことが伺えます。

白山神社

創立年月は不詳ですが、社伝によれば、加賀国の白山比咩神社より勧進して白山妙理大権現と称え村の鎮守として祭ったといわれています。

延宝元年（1673年）白山権現堂を新しく奉建し、文化13年（1816年）再建。

今の社殿は昭和13年に再建竣工しました。

また、平成24年には、開発紀元よりみて1年早く400年祭を行いました。



村の創基

古関の開発年代については、慶長9年（1604年）、同16年（1611年）、同19年（1614年）など文献によって諸説ありますが、古関としては、白山神社境内に立つ石碑に「開発慶長19年戊寅天 当地御見立中山三川守同開発長谷部喜右衛門」と刻まれていることから、慶長19年を開発の年としています。

伝承によると古関は、最上川の川べりの二本木村（または白川村）から移り住んだ村であり、たびたび洪水や地震に遭い困窮していたところ、慶長17年（1612年）に北楯大堰が開削されたため新たな希望を見出し、現在地へ移住したものだろとういわれています。村名は狩川の滝ぎきの流れをかんがい用水にしたことにちなんでつけられました。

古関村で特異なことは、村民が孫市方と彦市方に組み分けされ、郷蔵と呼ばれる米の貯蔵倉庫も別々に2つあったことです。2組に分けた理由は明らかではありませんが、大きな村では、検地や年貢の取り立てが便利のように、田畑を地域的に2に分けたのではないかと推察されます。

追分け石（松山－鶴岡街道）

この追分け石は、嘉永3年（1850年）に立建されたものです。表面には「右つ留可岡」「左ま津山」、右側面には「右加里川」「左さ可田道」、そして左側面には、庄内藩の漢学者池田玄齋の和歌が刻まれています。



「遊岐万与ふ人を憐れみ」（ゆきまよう人を憐れみ）
「玉矛能道乃志る辨爾」（たまほこの道のしるべに）
「立類石布美」（たつるいしぶみ）
「七十六叟 玄齋」（しちじゅうろく げんさい）

※S62.2.6 町の文化財に指定

著名人 PICK UP!

玄通寺住職、内藤秀善の長男として生まれ、明治45年に東京帝国大学文科大学西洋史学科を卒業すると、中学校教諭として就職しました。その後、東京帝国大学の図書館司書となりますが、父親の病気のため大正10年に帰県します。

翌年、鶴岡出身の社会学者である田中一貞氏の知遇を得て外務省に入り、外事調査課翻訳官として大正12年にペルシャ、トルコ、アラビア等へ出向し、同14年からはトルコ大使館の一等通訳官として勤務しました。この間、公務のかたわら各地で古書、歴史文献等を調査して中東文化の研究を行っています。昭和3年に帰国し、教職に復すると同時に、パキスタン協会副会長として国際親善に活躍しました。

昭和43年に勲三等瑞宝章を受章、同54年に余目町名誉町民に推されました。



内藤 智秀

(明治19年7月13日～
昭和59年7月24日)



パパとママにインタビュー

はやくおっきくなれの～!

Q1 名前の由来は？ Q2 今一番の興味やハマっていることは？
Q3 最近記憶に残ったエピソードは？ Q4 パパママの失敗談（子育てあるある）
Q5 パパママからのメッセージ



あおと
石川 碧斗ちゃん（主殿新田）

平成29年10月11日生まれ

たかし かな
パパ：貴志 ママ：華奈



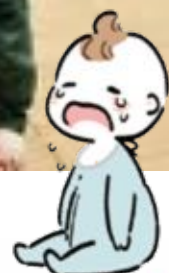
- 1 字画などは気にせず、私達の好きなものを名前につけました。碧色と星が好きで、「碧」と「斗」のイメージする、キラキラした光輝く宝石のように、目を輝かせてたくさんのことに興味を持ち挑戦する子になってほしいと願いを込めました。
- 2 絵本。飛び出す絵本や音の鳴る絵本を、自分でページをめくって見えています。
- 3 つかまり立ちやハイハイをすごくするようになってきて、ついに階段を上ようになりました。目が離せなくなってきましたが、子どもの成長に日々感激しています。
- 4 行動的になってきて、部屋で遊ばせていると、目を離した途端に後ろにバターンと転んでしまいギャン泣きも楽しんでいる分、泣かせてしまい反省……。
- 5 もうすぐ1歳。あっという間に大きくなったね。これからも、ニコニコで元気に毎日を過ごしてね。たくさんいろんなことを一緒に覚えて、一緒に成長していこうね。



あおい
坂野 蒼ちゃん（廻館）

平成29年10月3日生まれ

りょう さちこ
パパ：亮 ママ：幸子



- 1 大きな夢を持ち、まっすぐと育ててほしいという願いを込めて。
- 2 可動式の物干し台の下に入ってずっとガラガラ動かすこと。
- 3 何をしても朝ドラ「半分、青い。」のテーマ曲が流れると、テレビに釘付けになる。
- 4 ぐっすり眠っていたので大丈夫だろうと思い、目を離した隙にコロコロ転がってベッドから落ちてしまった。
- 5 いつまでも兄弟仲良く、優しい子に育ててね。



✿先生あのね……特集!!

子ども達との生活の中で聞く、たくさんの会話やつぶやきは、心がほかっとあったかくなりますね♥ そんなつぶやきを今回はたくさん紹介します!

バスの中で…

先生「ここはね、みなみのっていう所だよー」

A君「……しま?」

先生「…あ!みなみのしま?」

(一同大笑い)

ある日の給食に大根なますが出ました。

先生「お酢が入っているね」

B君「かぶとむしのオス?」



ああ、かんちがい!!

Cちゃん「明日、結婚式に行くんだ!こおりやまっていう所に」

D君「どこにあるの?」

先生「福島っていう所だよ」

Aちゃん「冷たいところ?」

……あー…こおり…だもんねー。なるほど笑



恐竜ごっこをしていたA君とB君

A君「ねー。子守唄歌ってー」

B君「なにいいかなー」

A君「イスズの歌…」

B君「♪はーしれはしれーいすずのトラックー♪」

大笑い

振り返ってみれば…

先生「A君の1歳の時の写真見つけたんだよー」

A君「ふーん。かわいかった?」

先生「かわいかったよー」

その時、隣に座っていたB君がしみじみ…

B君「ばくもねー、1歳の時は、かわいかったんだよー」

先生達 笑!「今もかわいいよー……!」



余目第四小学校6年生の みんなが願う 和合の里



齋藤 琉誠
【小出新田】

もっと、あいさつ名人がふえて、全員が名人になれるように、どんな人にでもあいさつできるようになって、明るく元気な和合の里になってほしいと思います。



川井 里紗
【古閑】

自然豊かで緑が多い和合にしたいです。みんなが楽しく笑えるようにしたいです。自然豊かな中ですごせるように、ゴミやほこりのない和合の里にしていきたいと思います。



長南 玲実
【連枝】

みんなが仲良く、笑顔で明るく過ごせる、緑いっぱいの自然が豊かな、生き物もたくさんいる、空気がきれいな和合の里にしたいです。

四小の校訓、三愛精神の「人を愛し、物を愛し、学問を愛する」をみんなができる四小、だれにでも、元気で明るく、笑顔であいさつができる和合の里にしたいです。



富樫 心花
【福島】

あいさつをがんばっているの、私は四小のみんなであいさつを今よりもっと大きい声で、進んでできるようにしたいです。

それと、自然豊かな四小にしたいです。ゴミが落ちていたらすぐに拾ったり、ゴミを自分でもすてないようにしたいです。緑でいっぱいの和合の里になってほしいです。



和合の里「地域啓発標語」各賞が決まりました

第四小学校の児童を対象に地域啓発標語の募集を行い、この度、応募総数147点の中から最優秀賞1点、優秀賞5点、佳作3点が選ばれ、最優秀賞には加藤沙季さん（小出新田 2年）の「こないかも それでもかくにん わたる前」が選ばれました。

最優秀賞、優秀賞の標語については余目第四公民館の前に看板を掲示しておりますので、ぜひご覧ください。



畑にこんにちは！

鈴木 幸雄さん
(南野新田)



今回、畑にこんにちは！とお邪魔したのは、和合大学院「悠遊塾」生のひとり、鈴木幸雄さんの畑です。鈴木さんのお住まいは公民館に程近い南野新田になりますが、畑があるのは南野と堤新田の間辺りでした。この辺りは土が大変良いそうです。そんな鈴木さんの畑には、里芋、からどり、枝豆（秘伝）、ねぎなどの秋野菜が豊富に植えられていました。これからにんにくを植えるそうで、準備よくきれいにマルチがかけられていました。

大きな畑にたくさんの作物を植えているため、遠くに住む友人に収穫した野菜を送るのが楽しみだとおっしゃっていました。北は北海道から南はどこまでか聞き忘れましたが、その他にももちろん地元の友達にもおすそわけしているそうです。

どのくらい畑にいますか？と問うと、大好きなグラウンドゴルフもしないといけないので「(畑に)パッと来て、1時間くらいさっと草取りをしてあとはグラウンドさ行くなや！10日くらい空ける時もあるし」と謙遜しておりましたが、鈴木さんの畑はきれいに管理されていました。

鈴木さんの畑のほかに、四ヶ村※や南野の方の畑もあるそうで、取材中お隣の畑では水尾正昭さん(南野)が枝豆の収穫に精をだしていました。(※四ヶ村…南興屋、中野、南野新田、主殿新田)

会えば話が尽きない、
楽しく頼もしい畑仲間♪

にんにくの植え付け
準備はバッチリ！



季節の郷土料理



栗ごはん

◆材料(4人分)

米……………カップ3
栗(むいたもの) … 300g
A 白だし……………大さじ4
A 水……………カップ3
A 塩……………小さじ1/2
いり黒ごま……………少々

◆作り方

- 1 米は洗ってザルに上げ、30分おく。
- 2 栗は塩水でサッと洗い、水気をきってから1個を2~3等分に切る。
- 3 炊飯器に1の米を入れ、Aを加えて混ぜ、表面を平らにし2の栗を加えて炊く。
- 4 炊き上がったら器に盛りつけ、いり黒ごまをふる。

◆ワンポイント

- ◎ 渋皮を少し残しておく、
ごはんが色づき風味が出る。
- ◎ 皮つきの栗の場合は、鍋に栗とかぶるくらいの水を入れて強火にかけ、煮立ったら中火にして15分ほどゆでて水に放ち、粗熱が取れたら表面の固い皮と渋皮をむく。



こんにちは 保健師です！

庄内町保健福祉課
渋谷 麗
(第四学区担当)

～のぼそう！健康寿命！！～
体を動かし、
健康寿命を延ばそう！！

毎日の生活の中でこまめに歩いたり、軽い運動を楽しむことが健康を維持します。活発に体を動かすことは、血圧や血糖値、筋肉の機能を改善させ、認知症や脳卒中等を予防する効果があります。

ずっと元気に過ごすために、家にこもらず、無理のない範囲で外に出ることも大切です。

運動量の目安

- ◆18～64歳：歩行またはそれと同等以上の強度の身体活動・運動を毎日60分
 - ◆65歳以上：強度を問わず、身体活動・運動を毎日40分
- ※身体活動とは、安静以外の全ての動きをいいます。家事・育児・介護・畑仕事などの生活動作が含まれています。

～仕事が忙しい、時間がない人は、今より10分多くからだを動かしましょう～

例えば……

- ・仕事の休憩時間に軽くストレッチをする
- ・駐車場は建物から離れた場所を選ぶ
- ・テレビを見ながら筋トレやストレッチをする
- ・近所への外出は自転車や徒歩にする
- ・手軽にできるウォーキングを始める
- ・健康づくり事業に参加する

問い合わせ先

- ◆健康推進係(余目保健センター)
☎43-0817
- ◆健康福祉係(立川庁舎) ☎56-3392



電子マネー詐欺が 急増しています!!



わ ぞ う 駐 在 所

庄内警察署
佐藤 正人
(第四学区担当)



「電子マネー、ギフト券の番号を教えて」 という話は『100%詐欺』です！

携帯電話などに、インターネットの有料動画サイトの未納料金を請求するSMSメール*が突然届きます。このようなメッセージは、典型的な架空請求のメールです。思い当たる節があっても絶対に連絡をしないでください。相手に連絡すると、5万円分の電子マネーを複数のコンビニエンスストアで購入し、電子マネーのID番号を教えるよう指示されます。多くはアマゾンギフト券が指定されています。

※ SMSは、メールアドレスではなく、携帯電話番号を宛先にして送受信するメッセージサービスです。

まずは
お近くの
警察署に
相談を！



有料動画サイトの未納料金があります。
本日まで連絡なき場合に法的手続きに移行します。

〇〇ジャパン
相談窓口
00-0000-0000

和合の里 INFORMATION

余目第四小学校

2・4年生 清掃ボランティア

9月9日(土)に4年生、10月13日(土)に2年生が、学年行事の一環として、第四公民館の窓清掃を行いました。ホールやロビー、正面玄関から事務室の窓までピカピカ、キレイにしました。

子ども達は真剣な表情で高いところまで精一杯腕を伸ばし、時にはお父



さん、お母さんから肩車をしてもらいながら隅々まで磨いていました。

宝くじ助成で整備

今年度、宝くじの社会貢献広報事業「コミュニティ助成事業」で地域コミュニティ活動のための備品(鯛焼き機など)を整備しました。ぜひ、部落のイベントなどでご活用下さい。



ブラックバスも捕まえた!!

みんなでざっこしめ



9月22日(土)、十六合第四揚水機場で、和合の里を創る会と吉方部落会の

共催事業「みんなでざっこしめ」が行われました。時折小雨が降るなか、子ども達は泥まみれになりながら“ざっこ”を追いかけていました。捕まえた“ざっこ”の中には大きなナマズ、ザリガニ、それからなんとブラックバスまでいました。



地域の未来を考える

和合の里振興計画策定中!

8月19(日)、第1回目の策定委員会を開催し、昨年度実施した住民アンケートなどをもとにして、地域課題を洗い出し、大まかに自治、福祉、生活、教育の4分野に整理しました。

9月26日(水)、第2回目の策定委員会では、4部会に別れ、分野別の目標など決めるワークショップを行いました。今後も月1回程度ワークショップを重ね、年度末までにリーフレットを作成、配布し、来年度以降は計画に沿って、具体的な事業などの検討を行っていきます。



余目第四公民館
亀ノ尾の里資料館

11月6日(火)

床清掃のため午後5時からの利用になります。
ご協力をお願いします。



編集後記



なんということでしょう!

春先から手塩にかけて育てて来たほうき草(コキア)ですが、9月上旬の台風によって数個が無残にも吹き飛ばされ、半分近くが風で斜めになってしまいました。

